

韓国ケベック学会祝辞

ハン・デキョン

韓国ケベック学会会長

日本ケベック学会の設立にたいして、あらためてお慶びを申し上げます。昨年10月4日、日本ケベック学会設立大会の際にも祝辞を述べさせていただきましたが、このたび、『ケベック研究』の創刊号が発行されることとなり、まことに喜ばしく思います。この機会にわたし自身のこの上ない祝意を、そして韓国ケベック学会の会員一同の賞賛と激励を表明させていただきます。日本ケベック学会は、日本ばかりか世界において、ケベックの文化と文学を普及させることによって、大きな役割を担うようになるでしょう。

韓国ケベック学会は2006年に設立されました。日本より2年早かったことにはなりますが、日本のケベック研究の歴史は韓国よりはるかに長いと承知しています。ケベック文学に関する韓国の最初の研究が出版されたのは1980年代末から90年代はじめにかけてです。以来、ケベックに関する多くの論文や翻訳が出版されましたが、研究者の数はまだ限られており、ケベックの文学や文化についての学術的な知識も充分とはいえません。したがって、ケベックの作家研究や取り上げられるテーマをさらに多様化させなくてはなりません。それを実現させるためには、日本ケベック学会と韓国ケベック学会の協力はぜひとも必要であると考えます。たとえば、互いの学会で企画されるシンポジウムに参加したり、学会誌に論文を寄稿しあうことができるでしょう。そうすることで、シンポジウムでの発表のテーマや学会誌の論文の主題はより豊富で多様になり、ケベックに関する学術的な知識や文化理解を深めることができるでしょう。

日本ケベック学会が近い将来大きな成功を収め、ケベック研究を促進させようとする諸外国の範となるであろうと、確信しております。